

牛久：学校周辺に見る自然

第11号 牛久二小

2020年4月25日発行

＜ 春の校庭 ～⑥その他の雑草と虫 その1 ＞

皆さん、こんにちは。牛久二小の春の校庭「雑草とそこに来る虫たち」、今回はその他の雑草と虫から、比較的どこの学校の校庭でも見られそうなものを紹介します。



オオイヌノフグリ(上左)とその花粉をなめるコマバムツホシヒラタアブ(下)。タチイヌノフグリ(上右)。

青く小さな花をたくさん咲かせる、オオイヌノフグリ。春早くから咲き始めます。ハナアブのなかまやミツバチが来て花粉や蜜を食べますが、キタキチョウなど大きめのチョウが蜜を吸いに來ることもあります。これとよく似たもっと小さな花をつけ、茎が立ち上がるタチイヌノフグリも、校庭ではよく見られます。どちらも、ヨーロッパ原産の帰化植物です。



こちらヨーロッパ原産の

オランダミミナグサ。ハコベのなかまです。秋に芽生えて冬を越し、春に成長して花を咲かせます。コハコベも、校庭ではよく見られます。花卉が一見10枚に見えますが、2つずつがもとのところにつながり、5枚です。オランダミミナグサと比べると分かりやすいですね。

オランダミミナグサ(左)とそのアップ(右上)。コハコベ(右下)。



葉をもむとキュウリの^{にお}いがする、
 キュウリグサ。わすれな草を小さくした
 ような花が咲^さきます。直径2ミリほど
 のこんな小さな花にも、キマダラハナ
 バチなどの蜜を吸^{みつ}う小さなハチが来^す
 ます。その他、どこの学校の校庭でもよく
 見られそうなものを、写真と名前だけあ
 げておきます。図鑑等^{ずかん}で調べてみましょ
 う。 【理科支援員：宮内】

キュウリグサ(上)とそのアップ(下左)。
 その蜜を吸^{みつ}うキマダラハナバチ(下右)。



カタバミ(左上)とスズメノヤリ(右上)。ナガミヒナゲシ(左下)とスイバ
 (下中)、ツクシ(右中)。ギシギシの葉^はにベニシジミ(右下)。